

表紙に使用している画像は、小川和紙の「透かし入り和紙（青海波）」です。青海波とは半円形を同心円状に重ねた波形の模様のことです。伝統的な和柄の1つです。

こどもまんなか
(小川中学校編)
裏表紙に関連記事



紙面で読む伝える

- P. 2~3 新生「小川中学校」と学校再編
- P. 6~10 一般質問「8議員」の視点
- P. 11 「物価高騰対策」の早期実現へ

がわがわが
ぎが
い



動画で見る魅せる



No.118 令和7年12月定例会
会期：12月3日～11日
発行...埼玉県小川町議会 2026.2.1 発行

小川中学校生徒会役員の皆さん

歩み出す 新生「小川中学校」 “居心地のよい” 教育環境を

令和7年4月、西中学校と榊台中学校が統合し「小川中学校」が誕生しました。様々な違いを乗りこえ“居心地のいい学校にしたい”とは取材で受けた生徒会役員の声。そのためには児童生徒の安全安心と学校生活の充実に向けた教育環境の整備が求められます。

令和12年4月の東中学校統合まで再編計画は進む。



保護者の声

・2つの学校、それぞれの違いを知ることから始まりました。
 ・「今までこうだったからこうしよう」ではなく「新しい学校なのだから」と、いいところ取りしながら進めています。

2校の違い

校庭のぬかるみ・狭さ



生徒の声 体育祭

体育祭の種目やルールを合わせるのが大変だったけれど、3年生がまとめてくれた。行事を通して仲良くなった。

心を合わせて



生徒の声

残念なのは、トイレが古く、通学が大変なこと。

残る課題

臭気

天井のシミ・カビ

遠距離・急坂



Gikai's eye 今後の再編を見据えて

令和12年度までの再編を見据え、小学生のスクールバスを含めた登下校の在り方は重要課題である。児童生徒数の減少・校舎の老朽化・教職員の計画的な人事等、教育環境を取り巻く課題は多い。議会は優先順位を持って、諸課題の解決に向け取組を続ける。

次ページは「条例改正ほかの質疑」

開校記念式典

新しい校章や校歌、制服等、どれもすばらしく意欲が高まります。

私たちは、新しい歴史のページを自分たちの手でつくり上げていきます。



和紙の椿や稲穂をデザインしました。挑戦することが大切!

夢があるからこそつまずきがある。自分を信じて前進を。

誇りを持って新たな学校を築き、校歌を歌い継いでほしいです。



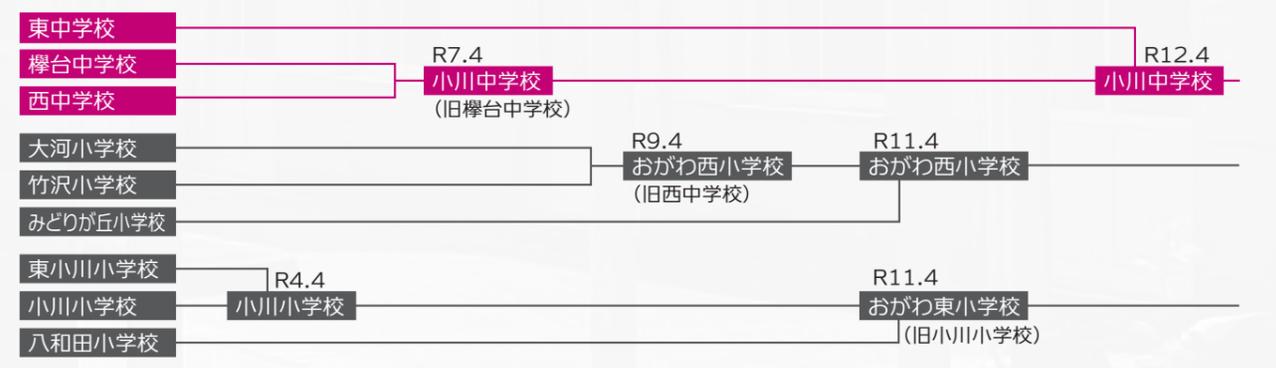
校章デザイナー 内藤正徳さん

校歌作詞者 大塚 暁さん

校歌作曲者 高橋浩美さん

(校歌)
 榊が見守る 学び舎に
 夢を抱いて 空を見る
 郷土の誇り この胸に
 根を張り 育ち 大空へ
 武蔵野の地に 萌え立つ若葉
 進みゆく 小川中学校

学校再編計画の流れ



議員が質した聞いてわかった 私たちの町、どうなってる？

令和7年12月定例会は、学校再編後の「2小学校の校名」や、今後10年間の町の未来図となる「第6次総合振興計画の基本構想」など21議案を審議しました。ポイントとなるやりとりを掲載します。

12月定例会の会議録は令和8年3月上旬から見られます。二次元バーコードからインターネットで【小川町議会 会議録】と検索



Pick up!

帯状疱疹ワクチン
約1割が接種済

第6次
総合振興計画
全12回
地区懇談会など開催

知っておきたい！この数字

小川町立小学校・中学校設置及び管理に関する条例の一部改正

再編による2小学校の校名を決定 「おがわ西小学校」と「おがわ東小学校」

Q 地域の学校名がなくなる。「おがわ」の名の下に「地域の学校から、町全体の学校へ」と変わっていく。再編に向かう子どもたちの前向きな姿を、町民全体に伝えることが大切だと考えるが。

A 現在、学校再編に向けた取組として、交流会や合同での行事等を実施し、自然に新しい環境をイメージできるよう学校は継続して工夫を重ねています。子どもたちの交流会の様子や成果等をホーム

ページの再編関連ページに掲載し発信できるよう、学校と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

竹小から大きなステージへ進む花ちゃん。誇らしくて胸がいっぱいです。



関根茜さん 花さん(靱負)

令和7年度一般会計補正予算

带状疱疹ワクチン接種委託料 増額要因は

Q 町として対象者の人数を一定程度把握し、それに基づき国の補助も入っていると思うが、増額となった要因は。

A 対象者は65歳に到達する方・70歳以上の5歳刻みの年齢の方及び100歳以上の方で、ワクチン接種自体は対象者個人の判断に基づき任意となります。増額要因は、対象者へ個別通知したことにより、当初予算見込みを上回る接種件数で推移しているためです。

対象者全体の約1割の方が接種され、年代別ではおおむね全ての年代の方が接種されている状況です。

Q 今後の予算の考え方は。
A 令和7年度から開始した事業です。今年度の状況を分析した上で8年度予算は適切に対応します。

当初予算額	197万2千円
対象者見積積件数	428件
補正予算額	182万8千円増
対象者追加見積積件数	457件増

第6次総合振興計画基本構想を定めること

今後10年間のまちづくり 将来像を掲げ施策の大綱を示す

Q 策定に至るまでにどれだけ町民の「声を聴き」その「声を生かす」ことができたのか。

A 令和6・7年度の2年間にかけ、地区懇談会(7回)・出張座談会(1回)・審議会(4回)を開催し、10月にはパブリックコメントを実施しました。いただいた意見等を可能な限り反映しました。また町の財政状況を示す資料も新たに追加しました。

Q 概要版の作成は、また子ども向けの作成は考えているか。
A 概要版について「子ども向け」という形での作成は想定していませんが、イラスト、文字サイズなど、小中学生にも手に取ってもらえるよう工夫していきます。



地区懇談会(大河公民館)

工事請負契約の締結

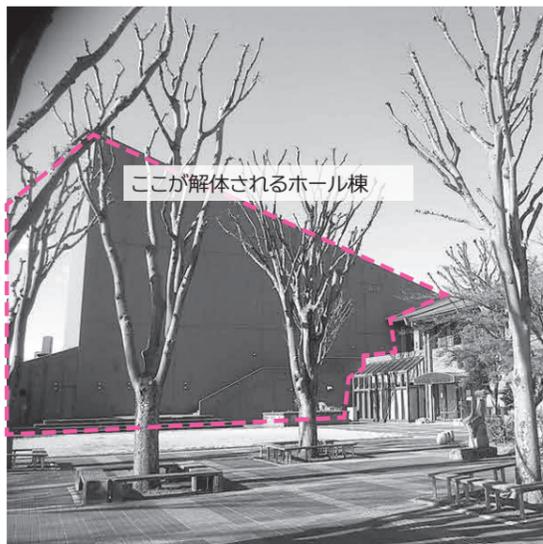
町民会館ホール棟の解体 2億900万円 コミュニティ棟利用者への影響は

Q 工事期間(令和8年10月末まで)は、多くのトラックの出入りが考えられる。駅利用者や路線バスへの影響はないのか。
A 地元住民や駅利用者へ迷惑が及ばないように、業者と話し合いを詰め必要な警備員を配置していきます。

Q コミュニティ棟利用者への影響はあるのか。
A 利用者の安全を第一優先で判断し、その上でコミュニティ活動を止めないよう工夫していきます。

Q 工事中の振動・騒音・粉塵等の対策は。
A 関係法令に基づいて、防音パネ

Q 解体事業者と定期的に会議を開く中で、工程や進捗の管理を。
A 定例会議の中で町の考えを含めて話し合い、課題等が発生した場合は、解決に努めていきます。



ここが解体されるホール棟

工事中の利用制限が最小限となるように工夫を



小川町議会だよりは

町民登場に「コタワル」

広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます。



小川町議会だよりは

写真に「タワウル」

写真は編集委員が「撮る」「選ぶ」。キャプション(写真説明)も工夫します。

Q 当町における犯罪件数は。
A 防災地域支援課長 令和7年10月末現在の刑法犯認知件数は157件で、前年同期に比べ23件増加しています。侵入盗が増加傾向にあります。街頭犯罪の発生も目立っています。

Q 当町の特に公園周辺住民から「治安に不安」との声があるが。
A 都市政策課長 ここ数か月の間に、一部の公園内において施設が燃やされる事案や、落書きをされるといった迷惑行為が複数回発生しており、こうした出来事が地域住民の不安につながっているものと認識しています。

Q 安全・安心なまちづくりのために防犯カメラを増やすことはできないか。
A 防災地域支援課長 街頭や公



公園の燃やされたテーブル

園などの公共施設に設置する防犯カメラは、地域住民の安全と安心の向上に資する有効な手段であると認識しています。プライバシーの保護、費用対効果、地域住民との合意形成といった観点に十分配慮し、具体的な設置箇所の検討を進めていきます。

●その他の質問
 ・女性のがん対策の推進を



たかはし 高橋さゆり議員が町に問う！

防犯カメラ
安全・安心なまちづくりを
答弁 具体的な設置箇所を検討中です

Q 緊急銃猟について、猟友会、小川警察署等と協議は行ったのか。
A 環境農林課長 緊急銃猟に限らず、柔軟に対応できるよう関係機関と協議を進めていきます。

Q 人の生活圏に害獣が出没することが増加したが、対策はあるか。
A 環境農林課長 防災行政無線で近隣住民に注意を喚起するとともに、小川警察署と連携したパト



里山整備に取り組むボランティア

Q 猟友会が捕獲した害獣の数は。
A 環境農林課長 令和6年度の捕獲数はイノシシが65頭、ニホンジカは72頭、アライグマは338頭、クマの実績はありません。

Q 猟友会の会員数は。
A 環境農林課長 43人で近年大きな増減はありません。9割は男性で、町内在住者の平均年齢は約69歳です。

Q 里山の充実を図ります。
A 環境農林課長 埼玉県が行ってきた里山再生事業や森林ボランティア制度が相次いで終了するが、町として独自の支援策等を予算化できないか。

Q 山林の管理やボランティア支援に森林環境増進税の活用を含め検討します。
A 町長 山林の管理やボランティア支援に森林環境増進税の活用を含め検討します。

●その他の質問
 ・教職員の働き方改革の現状は



たかはし 高橋功人議員が町に問う！

緊急銃猟
猟友会や警察等との協議を進めていきます
答弁 関係機関で協議を進めていきます

8の視点 一般質問

リニューアルオープン後の道の駅は、議会から見ても順調な滑り出しと思える。しかし、当初のねらいである町なかへの人の誘導や町全体の賑わいはどうだろうか？ 今定例会では、8人の議員が町の課題解決のための提案を行った。

- P.7 防犯カメラ
- P.8 地域医療
- P.9 買物支援
- P.10 こどもまんなか
- P.7 緊急銃猟
- P.8 学童跡地
- P.9 教育DX
- P.10 町長選挙



皆さんはどのテーマに関心がありますか？



公開します

議決結果はHPでも見られます→



議員の賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対

一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

他14議案も全員賛成で原案どおり「可決」しました



審議した主な議案

議案名	田中立男	関根慶則	田端良成	岡部久志	稲村壤治	鈴木秀尚	五十嵐康博	笠原規弘	大戸久一	田中照子	笠原英彦	高橋功人	高橋さゆり	山口勝士	島崎隆夫	高瀬勉	審議結果	
一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
町長及び副町長の給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
町立小学校・中学校設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
第6次総合振興計画基本構想を定めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和7年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
町民会館ホール棟解体ほか改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

議員提出議案

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

年間支給 4.60か月分→4.65か月分

議会議員の期末手当を0.05か月分引上げ

昨年度に引き続き、人事院(国)及び人事委員会(埼玉県)からの勧告を尊重し、期末手当の引上げを行った。また、町長・副町長・教育長・町職員の期末手当等の引上げに関する各議案も全会一致で可決した。



Gikai's eye

過去には勧告に準じて「引下げ」を行ってきた経緯もある。今後も、町の将来を見据える中で、財政状況や住民生活への影響等を総合的に判断し「議員報酬の在り方」について議論を深めていく。

一部事務組合議会から報告

一部の行政サービスを複数の市町村が共同で行うための団体が一部事務組合です。構成市町村の議会から議員を選出しています。

ごみ処理

小川地区衛生組合議会

ごみ処理の広域化に向け東松山市と「新施設」整備の協議が始まる

令和7年4月に、東松山市からごみ処理(可燃・不燃・資源)に関する広域化の申し入れがあり、広域化による長期的・安定的な処理の在り方について、調査研究が図られてきました。

現行のオリックス資源循環(株)への委託と比した「コストや環境負荷低減」などの効果検証を実施する中で、新たな枠組み(東松山・小川・滑川・嵐山・ときがわ・東秩父)による新施設の整備に向けた協議が始まります。

4月から全員が協力してすばらしいスタートを切ることができました。(星野直輝 教頭先生)

新校スタートから8か月ひとこと言わせて小川中先生編

Vol.32 Mini Interview

オガワマチのこと・ギカイのこと「一緒に見よう、考えよう」P10までつづきます!

地域医療



かさはらのりひろ
笠原規弘議員
が町に問う！

広域的な医療の研究を

答弁 関係市町村と支援の在り方を研究します

指し取り組んでいます。

部活動への支援体制を

Q 上位大会への出場は、保護者にとつて相当な経済的負担となる。

A 東中学校の体育後援会が解散するようだが、町が代替する考えは。

A 教育長 物価高等の社会情勢に応じるよう、各種大会等参加費補助金要綱を見直します。

学童跡地



すずきひでお
鈴木秀尚議員
が町に問う！

地域の児童館として活用を

答弁 公共施設を統合する観点から難しいです

道の駅のさらなる進化を

Q 「道の駅おがわまち」と分かる映えスポットを考えられないか。

A にぎわい創出課長 指定管理者がフォトスポットとなるモニコメントの設置を検討しています。

AQ 和紙コーナーの特別展示は。A にぎわい創出課長 今後多様な展示を企画していきます。



映えるスポットの工夫を (桶川道の駅)

Q 子どもの居場所は、徒歩や自転車で行ける場所にあり、日常づかいできることが望ましい。学童の跡地を児童館として活用できないか。

A 政策推進課長 公共施設を整理・統合する観点から難しいです。居場所づくりには、関係者の協力が不可欠です。

公民館の施設設備の更新は

Q 和室の畳の色や壁紙の剥がれ等が見受けられるが。

A 生涯学習課長 公共施設等総合管理計画で、残す施設については費用をかけて、機能を維持し魅力ある施設として活用することが求められます。優先順位をつけて対処していきます。



自己ベスト更新に励む駅伝部員

林野火災の撲滅に向けて

Q 比企広域市町村圏組合の火災予防条例改正を促すべきでは。

A 防災地域支援長 現在調整しており、今年度中の条例改正を目

買物支援



やまぐちかつし
山口勝士議員
が町に問う！

一日も早い事業の実現を

答弁 「移動販売車」実現へ協議を重ねます

Q 高齢者の各種アンケートでも「買物支援」への希望が大きい。一日も早く「買物支援」「移動販売車」を実現すべきではないか。

A 長生き支援課長 移動販売車による買物支援をすることで、外出や交流の機会が増え、フレイル予防や閉じこもり予防など介護保険の抑制にもつながると捉えています。社会福祉協議会が竹沢地区で、地域との「福祉懇談会」から、丁寧な実態を把握し「移動販売車」実現への調整を進めていることも承知しています。引き続き移動販売の普及に向けて、調整・協議を重ねたいと考えています。

一方「まだ行ったことがない」「混んでいるようだからもう少したつてから」という町民の声も多い。「町民デー」などの工夫はできないか。

A にぎわい創出課長 現在まで町内外の多くの方の「利用があり、時間をかけて遠方から来る方もいるので「小川町民デー」としての企画は難しいと考えます。

教育DX



たばたよしなり
田端良成議員
が町に問う！

当町の基本的な考えは

答弁 一人一人の学びをより豊かにすることです

Q 教育DXに対する当町の基本的な考えは。

A 学校教育課長 一人1台端末やネットワーク環境を効果的に活用し、児童生徒の一人一人の学びをより豊かにすることを基本的な考えとしています。

教師からの一方向的な授業だけでなく、児童生徒が意見を共有し、考えを深め合う双方向型・協働型の学びが進んでいます。

当町において、プログラミングの授業は実施しているか。

A 学校教育課長 国の学習指導要領に基づき、プログラミング授業を実施しています。

授業では、目的を達成するために、どのような手順で考え、組み立てるかという論理的思考力を身につけることを目的としています。



DXで進む双方向型・協働型の学び

Q SNSやテレビ放映で、道の駅の評判や情報は広がっている。

町民が実感する道の駅に



笠原地区地域福祉懇談会で課題を共有

8か月でこんなに仲良くなれるとは！新校になって、より活気あふれる学校になりました。(若壽光希先生)

お互いの体と心を大切に、協力して学校生活を送っています。(関口安希先生)

笑顔と活気があふれる学校にしたいです。(事務 小林裕介さん)

今まで違う学校の生徒同士だったとは思えないほど仲が良くて驚いています！(松本沙耶香先生)



小川町議会だよりは

見出しに「ダブル」

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。



子どもまんなが
理念や考え方の周知は
答弁 子どもが関わる事業等で伝えていきます



町長選挙
次期選挙への出馬は
答弁 引き続き町政の重責を担いたいと考えます

Q 「子どもまんなが」という言葉と「子どもまんなか社会」の理念や考え方の周知は。

A 子育て支援課長 子どもや若者の視点に立ち、最善の利益を第一に考え、全ての子どもが健やかに成長し、安心して生活できる社会を目指すことを目的としています。今後も子どもが関わる事業や活動で伝えていきます。

Q 子育て支援課以外の「課」との連携や協力体制は。

A 子育て支援課長 子ども施策を町全体で推進していくために、この理念に基づいた施策の実施を他の課と連携し、協力体制を図っています。今後も、社会全体で推進できるように、様々な角度から連携していきます。



子どもまんなが発信拠点「ココット」

Q 1期目の総括、公約の達成状況は。

A 町長 まだまだ課題が山積している状況ですが「人・町・未来が輝く小川町」の実現に向け、重要な施策を一つ一つ前に進めることができたのではないかと考えています。

Q 今後、進めるべき重要施策は。

A 町長 人口減少・少子高齢化という歴史的課題に直面しています。そのため、町内企業の活性化と企業誘致、道の駅を中心とした観光の活性化、関係・交流人口の増加と移住定住の促進を通じ、税収を増やすことが重要です。同時に財源を有効に活用するには、公共施設の統廃合や縮小、DXの推進等効率的な行政を目指す必要があります。町民が「この町に住み



進化を続ける道の駅

西中と榑台中の生徒の心が一つになって、明るく元気のある生活が始まりました。これからの成長が楽しみです。(吉澤明子先生)

西中と榑中が合併して早8か月。新しい伝統を築いていくのは君たちだ！日本一の学校を創り上げよう！(中澤逸郎先生)

シリーズ 16の1歩!! 進み続ける議会

新体制で動き出した任期後半の2年間。早期実現が必要な「物価高騰対策」や、次期「14人議会」に向けた取組など、息つく暇もなく！充実した議会活動が続いています。飛躍の「午年」を好機に、16人の歩みは止まりません。

物価高騰対策！ 町に「水道料金の減免」などを要望!!

去る12月11日に、物価高騰対策として国から受ける「重点支援地方交付金」の用途について、過去に実績がある「水道料金の減免」や「プレミアム付き商品券」「学校給食支援」などの早期実施を強く要望しました。



島田町長と物価高騰対策の早期実現を約束

※1月19日に臨時会が開催されました。

老人クラブの声を町政へ！ 「広聴特別委員会」が始動!!

昨年のプレ地区懇談会の経験を生かし、新生・広聴委員会の下で、懇談会・意見交換会の本格実施に向けた準備が進んでいます。記念すべき第1回目の懇談相手は各地区の「老人クラブ」の皆さんに決定！ 4月中下旬を目途に開催します。

祝小川中学校開校記念式典！ 議員手製の「和紙コサージュ」を着用!!

11月27日の「小川和紙の日」に行われた小川中学校開校記念式典に花を添えるべく、事前に全議員で「和紙コサージュ」を制作し、着用しました。



和紙作家・中島知子さんの手解きで無事に？完成

議会は、新生・小川中学校のさらなる発展に向けて、共に歩みを進めていきます。

議員定数【14】に向けて！ 「委員会構成」などの検討を諮問!!

12月15日付で高瀬議長から議会運営委員会に対し、次期「14人議会」の円滑なスタートに向けて、5項目の諮問がされ、早速、1月6日に議論が始まりました。具体のやり取りは次号から詳報していきます。

わたしの「まんなか」



小川中学校
大野光男校長先生

自分の母校として誇れる小川中学校に

西中学校と礪台中学校が統合し、小川中学校としてスタートしてから10か月が過ぎました。これまでの2校のよき伝統・文化を継承しつつ、教職員、生徒、保護者、地域の皆様と、将来自分の母校として誇れる学校づくりの第1歩を踏み出しました。

特に、生徒たち一人一人が、1期生、2期生、3期生という高い意識を持ち、小川中学校のよき伝統・文化の基礎づくり、よき歴史の最初の1ページを創るた

めに、これまで授業や生徒会活動、行事等に一生懸命に取り組んできました。その成果もあり、小川中学校の1年目がとても素晴らしいものになっていると感じています。

令和12年度の東中学校との統合に向けた準備を円滑に進めるためには、そして、よりよい小川中学校を創り上げていくためには、保護者・地域の皆様からのご支援、ご協力が必要です。今後ともよろしくご願ひ申し上げます。



1年生・2年生・3年生が縦割りで行った合唱祭

次の定例会は **2月26日(木)～** 午前10時 開会予定

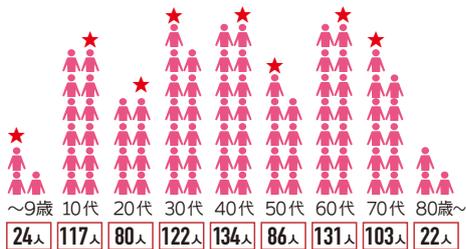
※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ



議員の 議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ ※2016年5月リニューアル号 (No.79) 以降の合計人数

819人 (★印は今号取材)



●今号の表紙●

最高の小川中学校に

「みんなが仲よく過ごしやすい学校にしたい」とやる気に満ちた生徒会の皆さん 応援しています!!

編集後記

この議会広報紙「おがわがかい」が全国の市町村から認められて、毎月のように視察を受けています。その度に感じるのが、同じように課題を抱え、それを何とかしようと奮闘している姿です。広報を編集しながら、課題を整理し解決する道筋を見い出していければと思います。(鈴木秀尚)

発行責任者：小川町議会議長 高瀬 勉

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋功人 副委員長 鈴木秀尚
委員 田中照子・笠原規弘・関根慶則
田中立男・田端良成



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています